

(仮称) 全国スケートボード施設連絡協議会

設立準備会

～スケートボードの普及・発展、そして地域の活性化へ～

とき 令和4年7月27日（水）
午前10時～

発起自治体

《新潟県村上市・新潟県南魚沼市・富山県富山市》

(仮称) 全国スケートボード施設連絡協議会設立準備会

次第

- [第一部] 1 開会
- 2 準備会の出席自治体について
- 3 発起自治体の紹介及び代表首長挨拶
- 4 設立趣意書（概要）について
- 5 関係団体のご紹介

- [第二部] 6 活動方針（案）について
- 7 協議会規約（案）について
- 8 事前調査票の集計報告
- 9 質疑応答
- 10 今後のスケジュールについて
- 11 閉会

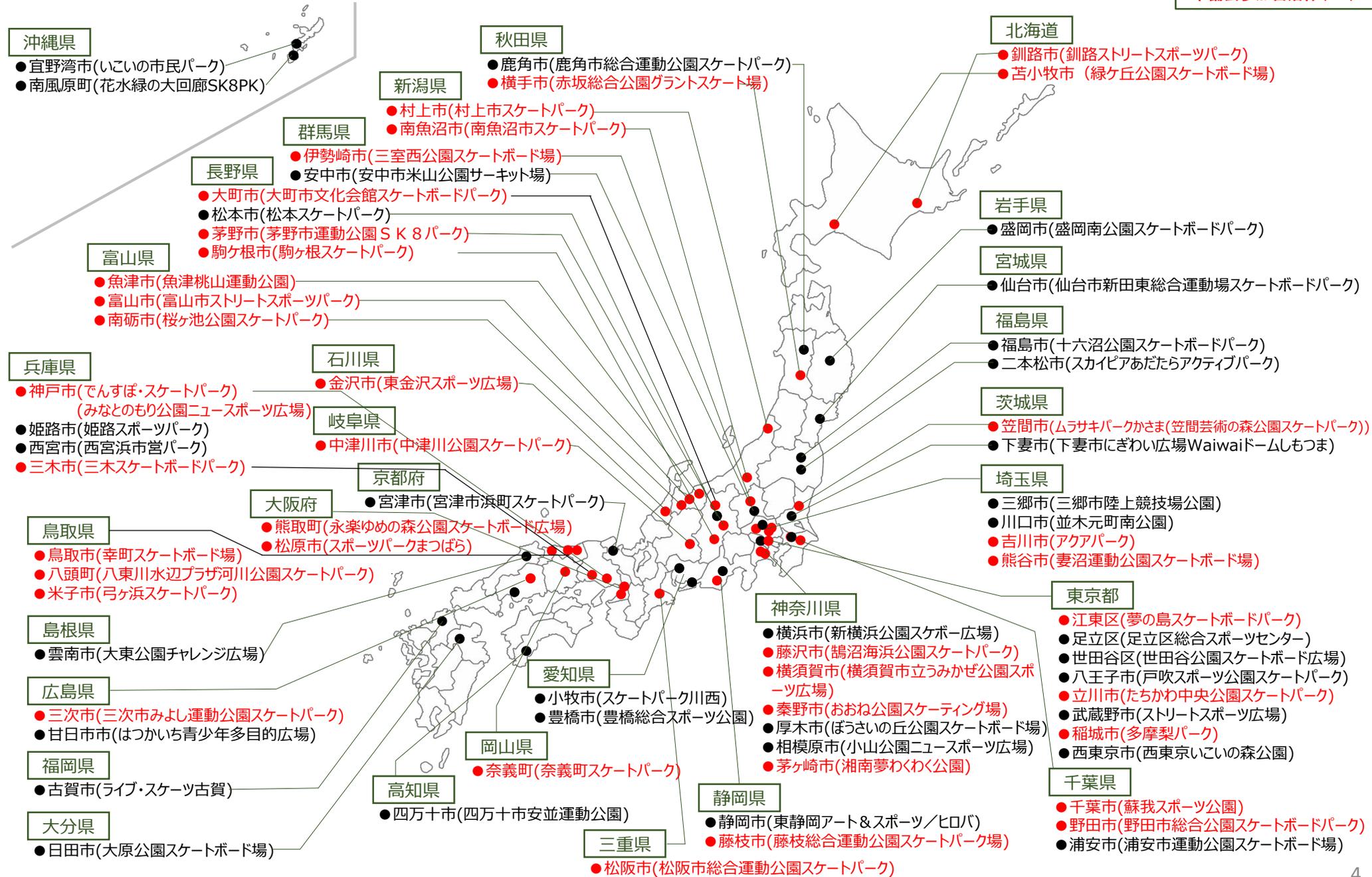
(仮称) 全国スケートボード施設連絡協議会設立準備会

2 準備会の出席自治体について

➤ 37自治体出席 / 69自治体

(仮称)全国スケートボード施設連絡協議会 参加呼びかけ施設(69自治体)

令和4年7月22日現在
準備会参加自治体(37)



(仮称) 全国スケートボード施設連絡協議会設立準備会

3 発起自治体

①新潟県村上市市長 高橋邦芳

②新潟県南魚沼市市長 林 茂男

③富山県富山市市長 藤井裕久

(仮称) 全国スケートボード施設連絡協議会設立準備会

4 設立趣意書（概要）について

スポーツが提供する価値は多種多様で、人々がより豊かで快適な生活を送るために重要な役割を担っています。

スケートボードは、高さや回転、スピード、技の難易度を競うアーバンスポーツです。東京2020オリンピック競技大会で正式種目となり、メダルの獲得により日本人選手の活躍が注目されました。また選手同士が励ましあう光景は話題になりました。大会後は競技者や愛好者が利用するスケートボード施設は、増加傾向にあります。

今、この契機にスケートボードを盛り上げていくことにより、地域の活力創造と活性化につなげたいと願っており、スケートボード施設の運営や維持管理における課題解決に向けた情報共有と共に、スケートボードの普及と発展を通し、生涯スポーツの推進と地域振興に寄与していくことを目的に、ここに「全国スケートボード施設連絡協議会」の設立を発起します。

(仮称) 全国スケートボード施設連絡協議会設立準備会

5 関係団体のご紹介

◎ スケートボード競技を応援する議員の会(会員47名)

会 長	遠藤 利明 様
会長代理	平沢 勝栄 様
幹 事 長	渡辺 博道 様
事務局長	堀井 学 様

◎ 一般社団法人 ワールドスケートジャパン

会 長	平沢 勝栄 様
-----	---------

(仮称) 全国スケートボード施設連絡協議会設立準備会

6 活動方針 (案)

目的

施設の課題解決や普及推進のため連携し、スケートボード競技の発展、生涯スポーツの推進と地域振興に寄与

活動内容

- ①情報交換
- ②施設相互の連携
- ③国、関係機関への要望、提案
- ④その他目的達成に必要な事項

効果とアクション

- ①施設運営(事故防止等)のノウハウの共有
⇒施設の安全・安心の確保
- ②連携したPR・情報の発信
⇒利用者、交流人口の増加による地域活性化
- ③共通課題の抽出、対応策の検討
⇒支援に関する要望、普及・発展のための提案

設立・活動のイメージ

- スケートボード競技の普及・発展
- 地域の活性化
- 施設運営や維持管理の課題解決

最終目標

- ◎競技人口の増加
- ◎施設使用者増加
- ◎地域の活性化
- ◎生涯スポーツとしての定着
- ◎競技力の向上
- ◎利用者が満足する施設運営

中間目標

- ◎構成員間の情報共有、情報の発信
- ◎関係団体との連携
- ◎支援に対する要望や競技の普及・発展のための提案

設立準備

- ・準備会 (zoom開催)
- ・各施設へのアンケート調査
- ・連携する取組の検討
- ・設立に向け準備作業

(令和4年7月)

協議会設立

- ・設立総会
- ・国内の施設が連携し、スケートボードの普及、発展を通じたスポーツの推進、地域振興を目指す

(令和4年11月)

(令和5年～)

「オリンピックレガシーの継承・発展」

ステークホルダー (関係者)

‹施設管理・運営›

スケートボード施設設置自治体

‹利用者等›

スケートボード競技団体

競技者・愛好者

連携

顧問

全国スケートボード施設連絡協議会

連携

‹国及び関係機関›

国 (スポーツ庁等)

スケートボード競技を応援する議員の会

日本オリンピック委員会 (JOC)

ワールドスケートジャパン (WSJ)

(仮称) 全国スケートボード施設連絡協議会設立準備会

7 - ① 協議会規約 (案)

条項	内 容
①名称	全国スケートボード施設連絡協議会と称する。
②目的	スケートボード施設の運営や維持管理における課題解決に向けた情報共有と共に、スケートボードの普及のために連携し、施設の利活用の推進やスケートボードの発展、生涯スポーツの推進と地域振興に寄与することを目的とする。
③活動内容	<p>(1) スケートボード施設の運営及び維持管理における情報共有に関すること。</p> <p>(2) スケートボードの普及推進及び地域振興に向けた情報交換に関すること。</p> <p>(3) スケートボード施設相互の連携に関すること。</p> <p>(4) 国、関係機関等への要望及び提案に関すること。</p> <p>(5) 前各号に掲げるもののほか、本会の目的を達成するために必要な活動</p>
④構成	本会の目的に賛同し、参加表明書を提出した市区町村で構成する。

(仮称) 全国スケートボード施設連絡協議会設立準備会

7 - ② 協議会規約 (案)

条項	内 容
⑤役員	会長（1名）、副会長（若干名）、監事（1名） 役員は、総会において構成員の互選により選任する。 役員任期は2年とする。
⑥役員職務	会長は、会務を総理し、本会を代表する。
⑦顧問	顧問には学識経験を有する者のうちから、役員に諮り、会長がこれを委嘱する。 顧問は、会長の諸問に応じ、専門分野における助言等を行う。 顧問任期は2年とする。
⑧総会	総会は、会長が招集し、議長となる。 総会の議事は、出席構成員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。
⑨経費	構成員の負担金及びその他の収入をもって充てる。
⑩会計	会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。
⑪事務局	事務局は、会長が所属する自治体で処理する。

(仮称) 全国スケートボード施設連絡協議会設立準備会

8—① 事前調査票の集計報告

- 1 調査票の提出 35自治体
- 2 施設に関する情報
 現行管理形態 直営14、指定管理16、その他6
- 3 施設運営に関する課題等

①施設運営・活動

項目	実施	実施検討	予定なし
事故防止・発生時マニュアル整備	11	11	12
競技団体・民間企業主催の大会誘致	5	2	27
競技団体・民間企業との連携取組	10	4	20
地域経済に波及する取組	3	5	26
中長期的な維持管理・更新費用の把握	6	11	17

(仮称) 全国スケートボード施設連絡協議会設立準備会

8-② 事前調査票の集計報告

3 施設運営に関する課題等

①施設運営・活動

項目	実施	実施検討	予定なし
外部技術や人材を活用する仕組みの導入	6	4	24
スケートボード以外での施設の利活用	17	0	17
施設内への有料広告の導入	3	1	30
施設のネーミングライツの導入	4	1	29

(仮称) 全国スケートボード施設連絡協議会設立準備会

8-③ 事前調査票の集計報告

3 施設運営に関する課題等

②広報活動

項目	実施	実施検討	予定なし
自治体ホームページへの掲載	29	0	5
自治体以外のホームページの掲載	14	2	18
自治体広報誌への掲載	11	0	23
雑誌媒体への掲載	3	1	30
パンフレット類の作成・配布	10	4	20
ポスターの作成・掲示	1	3	30
大会・イベントでの情報提供	4	4	26
スポーツショップ等での情報提供	3	3	28
その他	新聞掲載、SNS発信、指定管理者HP・SNS等		

(仮称) 全国スケートボード施設連絡協議会設立準備会

8—④ 事前調査票の集計報告

3 施設運営に関する課題等

③施設運営や維持管理に関する課題について

(1) マナーに関すること

- ア) 施設外（公道含む）の滑走、施設周辺へのゴミのポイ捨て
- イ) 施設利用者のマナー（ヘルメット無着用などルールを守らない利用者、落書き、ポイ捨て）
- ウ) 管理者がいない施設での近隣住民からの苦情（マナーを守らない）
- エ) 騒音、路上駐車之苦情

(仮称) 全国スケートボード施設連絡協議会設立準備会

8—⑤ 事前調査票の集計報告

3 施設運営に関する課題

③施設運営や維持管理に関する課題について

(2) 維持管理に関すること

ア) 補修対応

- ・クラックの日々の点検及び補修、舗装面のざらつき対応
- ・セクションの維持管理が困難
- ・製造メーカーが限られ、かつ高額であるため容易に修繕ができない
- ・経年劣化が出始めている

イ) その他

- ・登録制としているが、管理人がおらず、誰でも利用できてしまう仕組みに疑問を感じるとの意見もある

(仮称) 全国スケートボード施設連絡協議会設立準備会

9-① 質疑応答

◆事前に質問のあった事項

	質問 ・ 回答
Q1	活動内容にある「施設相互の連携」とは具体的にどのようなことを考えているかご教授ください。
A1	<ul style="list-style-type: none"> ・調査票の回答を踏まえ、施設相互の連携に期待する事項等を情報共有し、取組内容の検討ができればよいと考えております。 ・想定されるものとしては、指導者面では初心者向けの指導方法(内容)の共有やイベント等で派遣可能な指導者の共有、施設面では安全管理・事故防止マニュアルの共有など。
Q2	規約(案)の第5条で役員は互選とありますが、具体的にはどのように選任されるかご教授ください(持ち回り等)
A2	設立時は、立候補する構成員の方がいなければ、発起自治体で検討した役員案を提示したいと考えております。

(仮称) 全国スケートボード施設連絡協議会設立準備会

9-② 質疑応答

◆事前に質問のあった事項

	質問 ・ 回答
Q3	規約(案)第9条にある負担金の金額と主な用途をご教授ください。また、負担金は毎年度支出するものでしょうか？
A3	総会開催の会場借上料、国への要望書印刷代などが考えられ、構成団体の数により分担することを想定しております。その他、取組内容によって負担金が変わってくるものと考えております。
Q4	オリンピック等スケートボードの著名人と協議会が連携して行う事業やイベントの構想があるかご教授ください。あれば具体例も併せてご教授ください。
A4	・質問①の回答と同様に施設相互の連携に期待する事項を共有し、取組内容の検討ができればよいと考えております。まずは、施設間の情報交換からスタートできればと考えております。

(仮称) 全国スケートボード施設連絡協議会設立準備会

9—③ 質疑応答

◆事前に質問のあった事項

	質問 ・ 回答
Q5	今回案内を送付した自治体の選定基準をご教授ください
A5	ネット検索により公施設を選定しており、平成27年10月に開設された全国知事会スポーツ合宿マッチングサイト「Sports Camp Japan」に掲載されたスケートボード施設を有する自治体や一般社団法人日本スケートボード協会ホームページに紹介されている日本国内のスケートパーク情報から施設を有する市区町村、今年度施設オープン予定の自治体にご案内をさせてもらっております。

(仮称) 全国スケートボード施設連絡協議会設立準備会

10 今後のスケジュールについて

日 程		内 容	備 考
7月	27日	協議会設立に向けた準備会（オンライン開催） ・ 協議会設立趣意書・規約(案)活動計画(案)・ 調査書(集計結果)の提示	
8月～		協議会参加表明書の提出 ・ 施設連携の具体的な取組の検討 ・ 協議会設立に向けた協議、調整 （活動計画（案）、予算（案））	
11月	24～27日	(仮称) 全国スケートボード施設連絡協議会設立総会 ワールドスケートジャパン 第5回日本スケートボード選手権大会 （会場：村上市スケートパーク）	